WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区　上田ロータリークラブ
（創立1959年11月12日）

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ
イマジン ロータリー

R.I.会長　ジェニファーE・ジョーンズ
国際ロータリー第2600地区　ガバナー　上沢 広光

2022-23年度 上田ロータリークラブ
●会長　矢島 康夫　●副会長　小幡 晃大・三井 英和
●幹事　櫻井 雅文　●会報委員長　酒巻 弘

Rotary　イマジン ロータリー

第２９０２回例会（令和５年３月27日）

ホームページQR

[会長挨拶]　矢島康夫　会長

本日は、クラブ計画書の表紙絵を描いていただきました米津様にお越しいただいております。後ほどゲストスピーチをお願いしています。

北海道、東北地方のクラシックホテルの紹介です。

北海道には、帯広に北海道ホテルという北海道でも屈指の歴史を誇るホテルがあります。茶色のタイル張りのシックな落ち着いた建物は、改築を繰り返し近代的な設備を備えたホテルとなっています。このホテルの温泉は、「モール温泉」と言われている黒褐色の温泉で、植物由来の有機物を含んだ泉質は、ヒノキの様な清々しい香りが特徴です。以前はドイツのバーデンバーデンと十勝川温泉の２つしか無いと言われていましたが、その後日本の各地で発見されています。

このホテルの朝食はぜひとも和食を選んでください。地元十勝大豆（鶴の子大豆）の納豆は、食べてみる価値があると思います。

次は、青森県の八甲田にある八甲田ホテルです。国内最大級の洋風ログ木造建築のリゾートホテルです。館内のあちこちに棟方志功の書や版画が飾ってあります。ここは、すぐ近くにある混浴のヒバ千人風呂で有名な酸ヶ湯温泉も経営していますので、八甲田ホテルに宿泊すれば、酸ヶ湯温泉の無料入浴と送迎をしてもらえます。酸ヶ湯温泉は、玉川温泉、草津温泉と並んで酸性度が強い温泉ですが、ホテルの温泉は、青森ヒバの香り豊かな透明度が高い塩化物温泉です。

続いて、十和田湖にあります十和田湖ホテルです。十和田湖は青森県と秋田県の県境にあり、その秋田県側に位置しています。幻の1940年の東京オリンピックに向け天然秋田杉の巨木をふんだんに使い、宮大工80名を集めて技術を競わせた木造３階建てのホテルです。今はフロントが本館と新館の間にありますが、本館の玄関ホールとロビーは秋田杉の丸太をうまく組み合わせた素晴らしい造りとなっています。客室は、和室と洋室がありますが、どの部屋からも十和田湖を眺望できます。特に本館の和室は宮大工が技を競った素晴らしい部屋です。ぜひ本館和室に宿泊してみたらと思います。

[退会挨拶]　石田眞人さん

例会の貴重な時間をいただきますことにありがとうございます。４月１日付の人事異動で、上田から新宿の勤務になりましたので、３月末日をもって退会することになりました。

３年前の４月に転勤でこの上田に来ました。その頃は、新型コロナウィルスが流行り出して、緊急事態宣言が出ましたので、この歴史と伝統ある上田ロータリークラブに入会させていただいた途端に例会がしばらく中断したり、リモートとなり、非常に運営も困難な時期でありました。その中でも県外から来た私にとって仕事以外でその地域の方々と交流を持つことは非常に大変有意義で貴重な時間でありました。上田での生活は非常に充実したものになりました。これも上田ロータリークラブ会員の皆様のおかげであると思っております。

転勤はもう慣れっ子なので、心配していないのですが、単身生活を16年していましたが、今回は自宅に16年ぶりに帰ることになりました。これから妻と２人きりの生活が始まりますが、会話がスムーズに進むのかどうかが一番の不安になっています。４月には後任者が参ります。上田クラブに入会させていただく予定となっておりますので、その節はよろしくお願いいたします。上田ロータ

リークラブの皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、退会の挨拶といたします。誠にありがとうございました。

2022-2023年度クラブ計画書表紙のお礼

［挨拶］　　会友　米津福一さん

私は２月で86歳になりましたが、こんな年までまさか絵を描くようになると思っていなかったわけですね。なんでこんな歳まで絵を描くようになったのかをお話します。

小学校担任の先生は、伊勢宮の前に和田重という有名な大きな料理屋さんがあって、そこの娘さんが我々の先生でした。モダンな方で、戦前ですが、パーマネントとか、それからスカートをはかないようにという時代に逆を行ったおしゃれで素敵な先生でした。当時慰問袋に入れる絵をなんでもいいから書きなさいと言われました。先生も山本鼎の「感じたままは尊い」のその言葉を受けて絵でどんどん描けみたいなことで、私は先生のその言葉を唯一の拠り所に、絵の時間だけが、たがが外れる場で自由に発想が出てくる気持ちがしました。私は学校はあんまり好きじゃなかったんですが、そういう気持ちを察したかどうか、午前中はままごとで遊びなさい。１週間ぐらい午前中ずっとやってて、とってもそれが楽しくて、いつの間に学校が好きになりました。先生が私に絵を自由にどんどん書きなさいと言ってくださいました。そんなことで学校が好きになりました。その小学校１年２年の先生の元で本当に自由にどんどん描きなさいと教わりました。戦地の兵隊さんに送るための慰問袋に入れるため、空中戦とか肉弾戦の絵を描いていました。先生は放課後に紙を５枚くらい与えてくれて、私は描き続けました。それがきっかけになり、絵を描くことでいやなことも忘れられるようになりました。１年、２年生の頃その先生のおかげでなんか学校も楽しくなりました。

それでも世の中どんどん敗戦の色が濃くなってきてですね。1945年８月15日に戦争が終わりました。その後の記憶が私はあまりさだかじゃないんですね。不思議ですね。子供ながらも嫌な思いがあったのかもしれません。私の親族で真田の地に一軒家を借りました。そこへ何軒かの親戚で疎開しました。そこへ終戦の日にみんな集まりまして、全員正座して玉音放送を聞きました。真っ青な空の下、暑かったんですが、女性はもうおいおい泣いて、男性はもう固まって、膝を拳で叩いていました。何とも言えない悲痛な想いでした。女性は皆奴隷になって山中に逃げなくちゃいけないなどと真剣に話していました。

夏休みが終わりまして、学校へ行きました。そしたら先生が男性に代わっていました。敗戦の前には、その先生、黒板に鬼畜米英、チャーチルとルーズベルトの似顔絵を描いていたんです。絵の好きな先生として親しみが持てました。古川柳に「幼子がそれなりに見るメロドラマ」というのがあって、子どもはよくわからないけれど、戦争が終わったことなどが見ていて雰囲気からそれなりにわかるということです。子どもはそういう感覚なのですね。目隠しされていた世界が、あっという間に目の前から明るくなっていきました。本当に毎日、変化しました。戦争が終わってから町の青年団が今度は軽音楽の演奏会をやったり、青年団の素人芝居に興じているとか、私も本当に楽しみました。いい世の中が来たのだと感じられました。学校の方も、先に話しました女性教師が貫いてきた自由の雰囲気が炸裂しました。

学校に行けば、筆で教科書の文言を削ることをしました。なんか世の中がこれで変わるんだなって、世の中が明るくなるというのはこういうことかなって思いました。私の親父の一番の長兄が金子家に養子に行ったんですね。川柳家の金子呑風です。上田公園野球場の前に句碑があります。ＮＨＫ「君の名は」の番組前後に句の講評をやっていました。用事を作りそのおじさんのところに行きました。大勢で句会を開いていて、句を詠み上げると皆さんがどっと笑うんですね。どっと笑うことに印象が残りまして、仕事以外に趣味を持って、心の糧になるんだなと感じました。

その後、学校では、軍隊帰りの熱血教師がいました。その先生も山本鼎の教え「感じたものを感じたままに描け」という指導でした。紙もない時代でしたが、工夫して描かせてくれました。筆タッチもよくわかるように教えてくれました。その頃は小学４年生でした。５年生の時は３人の彫刻の先生に習いました。

その時代の雰囲気から自由ってどんなにありがたいかを感じました。中学の時にも山本鼎の影響を受けた先生がいて、人形を彫らせてくれました。彫ったら家まで来てやたらと褒められたことを覚えています。先生は技術はあまり教えてくれなかったですけれど、一生懸命にコンクールとか撮影会に連れて行ってくれて開花させてくれました。絵ってこんなに楽しいものだと感じるようになり、絵がいつの間にか、生涯の友となりました。無理矢理させられたのではなかったのです。小学校から中学校までいい先生に巡り会いありがたかったと感じています。

［『ロータリーの友』紹介］

雑誌委員会　土屋勝浩　副委員長

１．震災から復興へ　発酵で町づくり

ロータリーの友３月号右開き縦書きの４ページをご覧ください。ここでは「震災から復興へ　発酵で町づくり」というタイトルで、陸前高田市の醤油製造業㈱八木澤商店代表の河野道洋さんのコラムが載っています。河野さんは家業を継ぐ際、陸前高田市の少子高齢化の現状を憂

い、仲間の経営者と一緒に、誰のせいでこの町は衰退したのか犯人捜しを始めました。

そして、その一番の要因は我々中小企業の経営者ではないかという結論に達したそうです。陸前高田に残りたいと思った若者がいても、その人たちを採用してこなかった自分たちに責任があるというのがその理由です。その背景としてあるのが、お隣の会社は何をしているのか、強みは何なのか、協調すれば何が生まれるのかお互いによくわかり合えておらず、事業や雇用の拡大に繋がらなかったことがあるようです。

そんな時に2011年の東日本大震災が起き、陸前高田の９割の会社が津波で建物を流され、市役所職員も３分の１が亡くなりました。

河野さんは、一緒に勉強した経営者とともに、「なつかしい未来創造株式会社」という復興まちづくり会社を立ち上げ、震災５日目から地元の金融機関と一緒に雇用を守ることに全力をあげたそうです。先の見通しが全く立たない状態で求人を出すということは、事業経営者として正しい判断だったのか分からなかったということですが、その状況で入ってきてくれた社員とは、未来のために一緒に働いていく仲間として、強い絆が生まれていったということです。

その後、国から産業特区の指定を受け、規制に縛られることなく官民一体で新しい仕事を創設していき、地域の若い人たちだけでなく、外から移り住んで農業や漁業をする人も増えてきたそうです。

河野さんは、更に小さなまちづくり会社「かもし」を作り、今度は「発酵」をテーマとした商業施設を提案し、地元で発酵食品を製造している７社が集まってパンや味噌、チョコレートやクラフトビールの提供を始め、新たな観光拠点となっているということです。

人口が減っていくということをマイナスに捉えず、一人当たりの地域資源の絶対量は増えると考え、それに磨きをかければ更に外貨や人を呼ぶことができ、それが地域に豊かさを呼び込む種になるのだとまとめています。

震災ですべて失われてからの再チャレンジ、改めてその地域への思いの強さに感銘を受けました。

２．この人を訪ねて

９ページをご覧ください。「この人を訪ねて」のコーナーでは佐倉中央ＲＣの萩原勇作さんが紹介されています。萩原さんは千葉県と茨城県でイタリアンレストランを５店舗経営されており、ローマ教皇の来日時には食事をまかされたキャリアを持っておられます。一方で、コロナ禍で苦しむ成田市の活性化のため、ＪＡＬとＡＮＡも一緒に参加する航空イベントをプロデュースし、大きな話題を集めた人でもあります。

萩原さんは、経済学部の修士課程を修めており、料理人としてでなく経営者として料理のプロデュースに徹してきたそうです。あるときバチカン大使館の参事官と知り合いになり、幸運にも晩餐会のメニュー提案の機会を得ることになりました。その際、台風で規格外になった野菜を使った料理を提案したところ、それが高く評価され、ローマ教皇と随行団約50人の昼食会を任されることになったそうです。

また、コロナ禍でも持ち前の提案力が生きてきます。当時はＪＡＬもＡＮＡも国際線は飛ばせない状態でしたので、国内でチャーター便を飛ばすイベントを企画したそうです。ＪＡＬの飛行機で成田を出発して富士山の上空を通過しながら３時間でほぼ日本を半周、上空ではオリジナルの機内食を楽しみます。そして、フライトが終わると、今度はＡＮＡの最新鋭の旅客機を見学し、その後ミニコンサートを鑑賞するというものですが、定員170人分がすぐに完売したそうです。今までＪＡＬとＡＮＡが一緒にイベントを行なったことは無いということでしたが、プロジェクトに協力したＪＡＬ成田支店、ＡＮＡ成田空港支店、成田市観光協会、千葉銀行などの幹部がいずれもロータリアンということで、話がトントン拍子で進んだそうです。ロータリークラブが地域振興に貢献した大変素晴らしい事例だと感じました。私たちも大きく社会を動かせるようなイベントをいつか企画してみたいものですね。

［幹事報告］　　櫻井雅文　幹事

１．米山奨学会
　ハイライトよねやま　276号
２．地区事務所
　コーディネーターニュース
　2023年３・４月号
　2023-2024年度のための地区研修会・協議会開催のご案内
　第33回ＲＹＬＡ開催のご案内
３．上田東ＲＣ
　Ｒ財団地区補助金事業の報告書冊子
４．豊かな環境づくり上小地域会議
　令和５年度豊かな環境づくり上小地域会議表彰に係る表彰者候補の推薦について（依頼）
５．うえだこどもまつり実行委員会
　うえだこどもまつりの後援について（依頼）
６．東信ジャーナル
　上田の児童生徒が英語スピーチ発表
　国際ロータリー東信第二グループ
７．信州民報
　小・中学生英語スピーチ発表会
　５ロータリークラブ「初企画」
８．例会変更

上田六文銭ＲＣ　４月25日㈫　定受なし
５月２日㈫　定受なし
30日㈫　定受なし

［ニコニコＢＯＸ］　宮川　泰　副委員長

飯島幸宏さん　石井懋人さん
石田眞人さん　出田行徳さん
伊藤典夫さん　小幡晃大さん
窪田秀徳さん　桑原茂実さん
小林秀茂さん　小山宏幸さん
酒井喜雄さん　酒巻弘さん　櫻井雅文さん　滋野眞さん
関啓治さん　関勇治さん　高橋鼓さん　滝沢秀一さん
田中健一さん　田原謙治さん　土屋陽一さん　林秀樹さん
布施修一郎さん　矢島康夫さん　柳澤雄次郎さん
本日喜投額　24名　￥　34,000
累　計　￥1,445,500

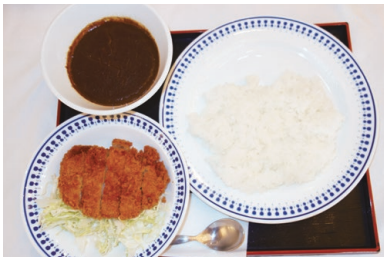
［例会の記録］
司会：小山宏幸　会場・出席委員長
斉唱：ロータリーソング「四季の歌　春」
●お客様の紹介　会友　米津福一さん
●退会記念品贈呈　石田眞人さん
●2022-2023年度クラブ計画書表紙のお礼
挨拶　会友　米津福一さん
●『ロータリーの友』紹介
雑誌委員会　土屋勝浩　副委員長
●会長挨拶
●幹事報告

［ラッキー賞］
土屋　勝浩さん
（内河利夫さんより、銀座年輪や本店のバウムクーヘン）
関　　啓治さん（出田行徳さんより、讃岐うどん）
石田　眞人さん（米津仁志さんより、太郎吉パン）
内河　利夫さん（滋野眞さんより、新潟雪中梅）
米津　福一さん
（柳澤雄次郎さんより、とらやようかん）
飯島　幸宏さん
（布施修一郎さんより、上州生そば、入浴剤）
柳澤雄次郎さん（関啓治さんより、日光　絹のしらべ）
酒巻　　弘さん（関啓治さんより、日光　絹のしらべ）

［出席報告］　小山宏幸　会場・出席委員長

	本日	前々回（3/6）
会　員　数	57	57
出席ベース	54	54
出 席 者 数	42 コロナ欠席2	37
出席免除(b) （ ）内は出席者数	6(3)	6(3)
出席免除(a)	0	0
メークアップ （ ）内 は Make up 後		3(40) コロナ欠席3
出　席　率	81.48	79.63

［本日のメニュー］
●カツカレー
●コーヒー



［次回例会予定］
４月10日㈪　例会　職業奉仕賞
㈲五味楽器店代表取締役　五味哲朗様

（4月3日発行）
【会報担当】　金子良夫　会報委員